



旧松下家住宅

石川県金沢市旧泉新町に所在していた茶店を兼ねた町家。近郷の農民相手に種物商も営んでいた。江戸時代末期に建造されたものだとわわれている。現在は、金沢湯涌江戸村に移築されている。

地方色豊かな造りも見られるが、表に店「みせのま」、奥に座敷「ざしき」を配し、通り土間「通りにわ」でつながるところなど、典型的な町家の間取りになっている。